

## 「張艶さんの新たな出発を祝う会」開催報告

日 時：平成 22 年 7 月 8 日（木）  
18：00～20：00  
会 場：如水会館 2 階ペガサスの間  
発起人：7 名  
参加者：76 名（発起人含む）  
記念品のみの参加者：23 名

日中建協会員及び会員 OB 参加者：25 名



張艶女史

当協議会は予てより、中国の関係機関との交流を進めてきましたが、その中でも、中国建築設計研究院の張艶様には訪中団の企画や受け入れ、調査事業などについて今まで多大なるご協力を賜りました。

本年 5 月末に張艶様が定年を迎えられましたが、多くの関係の方々が発起人となり、日本において「新たな出発を祝う会」が行われ、当協議会は、「祝う会」実行委員会の事務局としてお手伝いをさせていただきました。

祝会は、まず、発起人代表として財団法人日本建築センターの立石理事長がご挨拶をされ、引き続き、御来賓として張艶様の上司に当たります中国建築設計研究院の修院長からのご挨拶となりました。

祝宴の始まりは、財団法人ベターリビングの那珂理事長から乾杯のご発声をいただきました。

ご出席された皆様もそれぞれ久しぶりの再会をされた方々も多くいらしたようで、会場内は張艶様を介しての同窓会さながらの賑やかさと笑い声に包まれていました。



ご参加いただきました方を代表して、政策研究大学院大学の三井教授に、張艶様との懐かしいエピソードなどのお話を頂き、その後、株式会社日本建築住宅センター社長で当協議会の運営委員長の社本様より記念品の贈呈が行われました。

そのまま引き続いて張艶様にご挨拶をいただきましたが、皆様への感謝の気持ちや日中交流に関する新たな決意などをお話し頂きました。

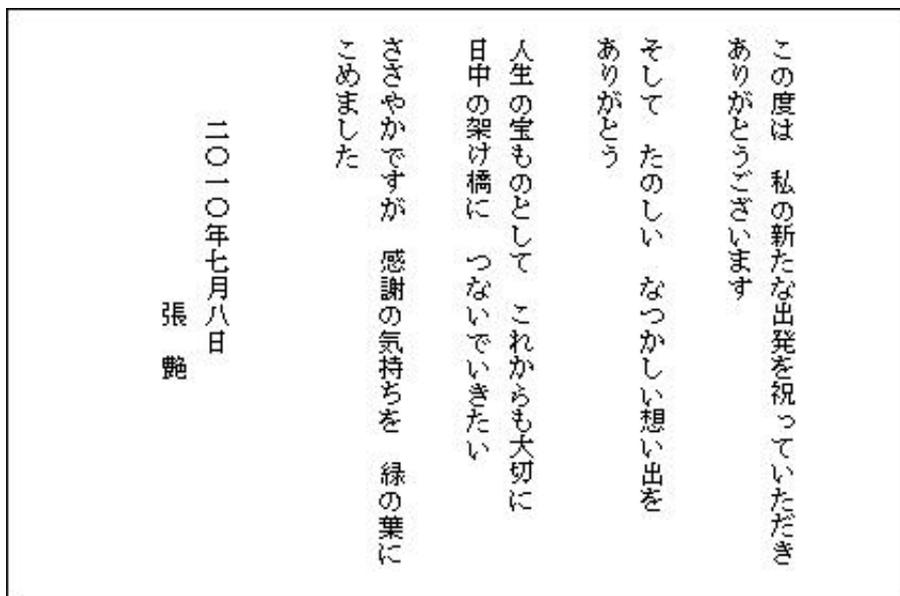
予定の時間はすぐに過ぎてしまい、最後に株式会社 UR リンケージの中田顧問にご挨拶をいただき、中締めではなく本締めとなりました。しかしながら、多くの皆様が会場内に留まったままで、本当のお開きとなるにはそれからかなりの時間を要しました。ご協力いただきましたホテルの関係者の皆様、有難うございました。

当日の会場内の和んだ雰囲気や皆様の笑顔は、まるで張艶様の人柄を反映しているようで、日中友好の架け橋としてご尽力頂いた大きな力を改めて感じました。また、これからも大切に守っていかなければいけないと、参加された誰もが同じ思いを胸に帰路につかれたことと思います。



記念品贈呈

当日参加をした方と記念品に参加をされた方全員一人一人に、張艶様からメッセージカードとともにプレゼントをいただきました。



張艶様の今後ですが、定年退職後も引き続き中国建築設計研究院において日中交流を中心に仕事をされます。

「張艶さんの新たな出発を祝う会」の様子は、会報誌「日中建築住宅情報」No.187 8・9月号を参照下さい。